

# ごみ中間処理施設整備事業 環境影響予測評価実施計画書のあらまし



## 目次

(抜粋)

① 対象事業の必要性と目的	1
② 対象事業の概要	1
③ 工事計画	2
④ 環境保全対策	2
⑤ 環境影響評価の手続きの流れ及び実施計画書説明会の位置づけ	4
⑥ 環境影響評価	5
⑥-1 地域特性 [文献調査結果] の概要	5
⑥-2 環境影響評価の項目	6
⑥-3 調査、予測、評価の手法	7
⑦ 実施計画書の縦覧及び意見書の提出について	11
⑧ お問い合わせ先	11

平成 28 年〇月  
厚木市

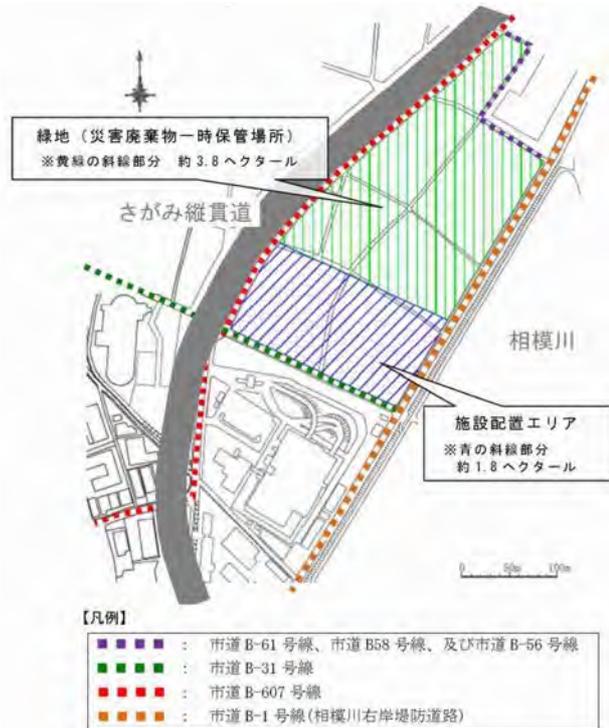
## ① 対象事業の必要性と目的

厚木市、愛川町及び清川村（以下「構成市町村」という。）の可燃ごみを焼却処理している厚木市環境センターは、昭和 62 年竣工のため、施設の老朽化が進み、更新が必要な状況となっています。このため、厚木市では、最新の技術を採用した安全性・安定性を備えた経済的な新たな廃棄物処理施設（ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設、以下「計画施設」という。）を建設し、ごみの適正処理や循環型社会形成に寄与することを目的として、本事業を実施します。

## ② 対象事業の概要



凡 例  
 実施区域



項 目	内 容	
ごみ焼却施設	処理能力	273 t/日（年間処理量：66,448 t）
	焼却方式	ストーカ方式
	炉構成	2 炉
	ごみピット容量	約 9,950m <sup>3</sup> （施設規模の 7 日分、単位容積重量：0.1922 t / m <sup>3</sup> ）
	煙突の高さ	59m（今後、排ガス拡散効果の検証、景観とのバランスを考慮して決定）
	発電効率	17%以上
	余熱利用	施設内利用の余剰分は、発電及び余熱利用施設への熱供給を行う。
粗大ごみ施設	処理能力	20 t/日（年間処理量：3,791 t）
	主要設備の基本仕様(項目)	(1) 受入供給設備、(2) 破碎設備、(3) 搬送設備、(4) 選別設備、(5) 貯留搬出設備、(6) 集じん設備、(7) 給水設備、(8) 排水処理設備、(9) 電気設備、(10) 計装設備、(11) 雑設備
緑地	構成市町村の災害廃棄物の一時保管場所	

## ⑥ 環境影響評価 (⑥-2 環境影響評価の項目)

環境影響評価の項目は、実施区域の環境特性、対象事業での事業行為による影響の内容及び程度について検討した上で、評価項目を選定しました。

区分		工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用			
		造成工事等	建設機械の稼働	工事用車両の走行	土地又は工作物の存在	施設の稼働	関係車両の走行	
評価項目	評価細目	環境影響要因の区分						
大気汚染	環境基準設定項目	二酸化硫黄					○	
		浮遊粒子状物質		○	○		○	○
		二酸化窒素		○	○		○	○
		ダイオキシン類					○	
	規制物質	塩化水素					○	
		粉じん	○	○	○			
有害物質	重金属類					○		
水質汚濁	生活環境項目	浮遊物質	○					
		水素イオン濃度	○					
		上記以外の生活環境項目						
	健康項目	ダイオキシン類						
	規制項目							
	要監視項目							
	農薬項目							
	指標項目							
土壌汚染	土壌汚染					○		
騒音・低周波音	騒音		○	○		○	○	
	低周波音					○		
振動	振動		○	○		○	○	
地盤沈下	地盤沈下							
悪臭	悪臭					○		
廃棄物・発生土	廃棄物	○				○		
	発生土							
電波障害	テレビジョン電波障害					○		
日照阻害	日照阻害					○		
気象	気象							
水象	河川							
	地下水							
	海域							
地象	傾斜地							
	地形・地質							
植物・動物・生態系	植物					○		
	動物		○	○		○	○	
	水生生物	○						
	生態系	○	○	○		○	○	
文化財	文化財							
景観	景観					○		
レクリエーション資源	レクリエーション資源			○		○	○	
温室効果ガス	温室効果ガス		○	○		○	○	
地域分断	地域分断							
安全	危険物等					○		
	交通			○			○	

注) ○：評価項目として選定する項目

空白：影響が軽微であるか又は影響がないため評価項目として選定しなかった項目

## ⑥ 環境影響評価（⑥-3 調査、予測、評価の手法）

### ○ 調査の手法

#### 1. 大気汚染

項目	手法	時期等	調査実施例
大気汚染の発生源等	既存文献調査	適宜	
環境大気(二酸化窒素等)、 道路沿道大気(浮遊粒子状物質等)、 地上気象(風向、風速等)、上層気象(風向、風速等)	現地調査による試料の 採集、分析等	年4回(春、夏、秋、冬)	

#### 2. 水質汚濁

項目	手法	時期等	調査実施例
水質汚濁の発生源等	既存文献調査、	適宜	
浮遊物質、水素イオン濃度	現地調査による試料の採取、分析等	年2回(降雨時)	
土粒子の性状	採取した懸濁液の浮遊物質濃度を、 経過時間ごとに測定	年1回	

#### 3. 土壌汚染

項目	手法	時期等	調査実施例
土地利用の履歴等	既存文献調査、	適宜	
ダイオキシン類、 環境基準項目(カドミウム等)	現地調査による試料の採取、分析等	年1回	

#### 4. 騒音・低周波音、5. 振動

項目	手法	時期等	調査実施例
騒音、振動の発生源等	既存文献調査、現地調査	適宜	 
環境騒音、道路交通騒音、 低周波音、地表面の状況	現地調査(騒音計等による計測)等	年1回	
環境振動、道路交通振動、 地盤の状況	現地調査(振動計等による計測)等	年1回	

#### 6. 悪臭

項目	手法	時期等	調査実施例
悪臭の発生源等	既存文献調査	適宜	
特定悪臭物質、臭気指数	現地調査による試料の採取、分析等	年2回(夏季：6月、8月)	

#### 7. 廃棄物・発生土

項目	手法	時期等
廃棄物の中間処理・ リサイクル・最終処分状況	既存文献調査	適宜

#### 8. 電波障害

項目	手法	時期等
テレビジョン放送の受信状況	既存文献調査	適宜
テレビジョン放送電波の状況	現地調査による受信状況の確認	年1回

#### 9. 日照障害

項目	手法	時期等
土地利用・地形及び工作物の状況	既存文献調査	適宜

#### 10. 植物

項目	手法	時期等	調査実施例
植物相	現地調査(目視観察等)	年4回(早春季、春季、夏季、秋季)	
植生	現地調査(植生図作成等)	年4回(早春季、春季、夏季、秋季)	
生育環境等との関わり	既存文献調査	適宜	
緑の量	既存文献調査、現地調査等による 情報収集、整理及び解析 (「植物」の調査結果を適宜活用)	植物と同様の時期	

## ⑥ 環境影響評価（⑥-3 調査、予測、評価の手法）

### ○ 調査の手法

#### 11.動物、12.水生生物

項目	手法	時期等	調査実施例
哺乳類	現地調査(トラップ法等)	年4回(春季、夏季、秋季、冬季)	 <p>トラップ法</p> <p>直接観察法</p>
鳥類	現地調査(ルートセンサス法等)	年5回(春季、初夏、夏季、秋季、冬季)	
爬虫類	現地調査(直接観察法)	年3回(初夏、夏季、秋季)	
両生類	現地調査(直接観察法)	年4回(早春季、春季、夏季、秋季)	
昆虫類	現地調査(ライトトラップ法等)	年5回(早春季、春季、初夏、夏季、秋季)	
魚類	現地調査(捕獲法等)	年2回(春季、秋季)	
ベントス	現地調査(任意採集法)	年2回(早春季、夏季)	
生息環境等との関わり	既存文献調査	適宜	

#### 13.生態系

項目	手法	時期等
地域を特徴づける生態系	既存文献調査、現地調査等による情報収集、整理及び解析 〔「動物」及び「植物」の調査結果を適宜活用〕	動物、植物と同様の時期

#### 14.景観

項目	手法	時期等	調査実施例
主要な眺望点の状況、 景観資源の状況	既存文献調査、現地調査等による情報収集、整理及び解析	適宜	
主要な眺望景観の状況	現地調査(主要な眺望点からの写真撮影)	年2回(着葉期、落葉期)	

#### 15.レクリエーション資源

項目	手法	時期等
触れ合い活動の場の分布、 利用状況及びアクセス状況、 騒音・振動、交通量の状況	既存文献調査、現地踏査等による情報の収集、整理及び解析	年2回(平日、休日)

#### 16.温室効果ガス

項目	手法	時期等
エネルギー資源の状況	既存文献調査	適宜

#### 17.安全(危険物等)

項目	手法	時期等
災害予防、災害拡大防止	既存文献調査	適宜

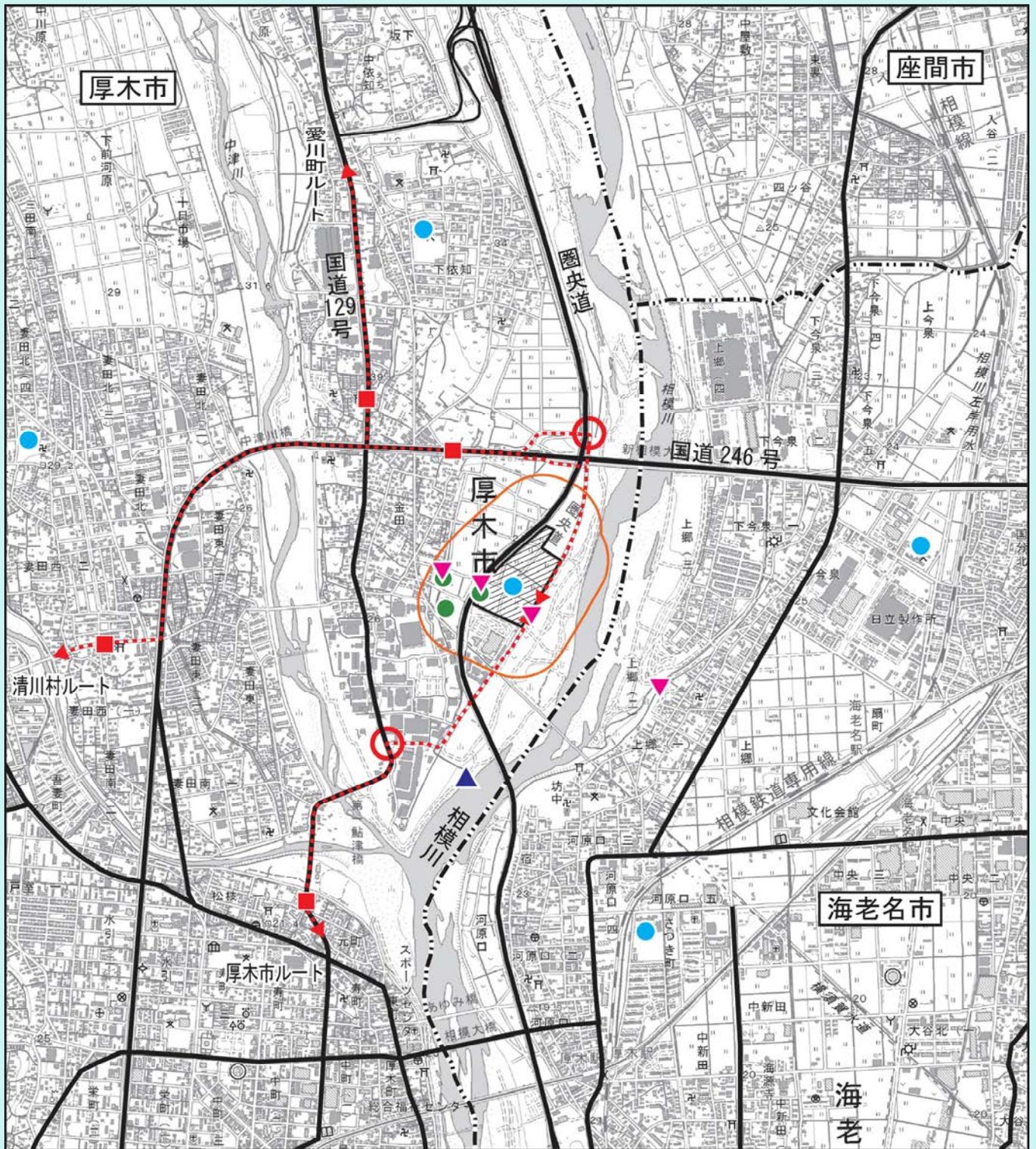
#### 18.安全(交通)

項目	手法	時期等
道路等、交通量、通学路等、 交通安全施設、交通安全対策等	既存文献調査、 現地調査(交通量調査)	適宜

### ○ 予測及び評価の手法

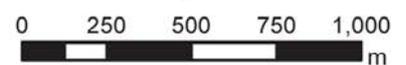
調査結果等を踏まえて、各項目の環境影響について、事例の引用又は数値シミュレーション等により予測を行うとともに、環境保全計画を踏まえ、事業の実施による影響が実行可能な範囲内のできる限り回避又は低減され、必要に応じその他の方法により環境の保全についての配慮が適正になされているかどうかを評価します。

○ 現地調査地点位置図（景観を除く）

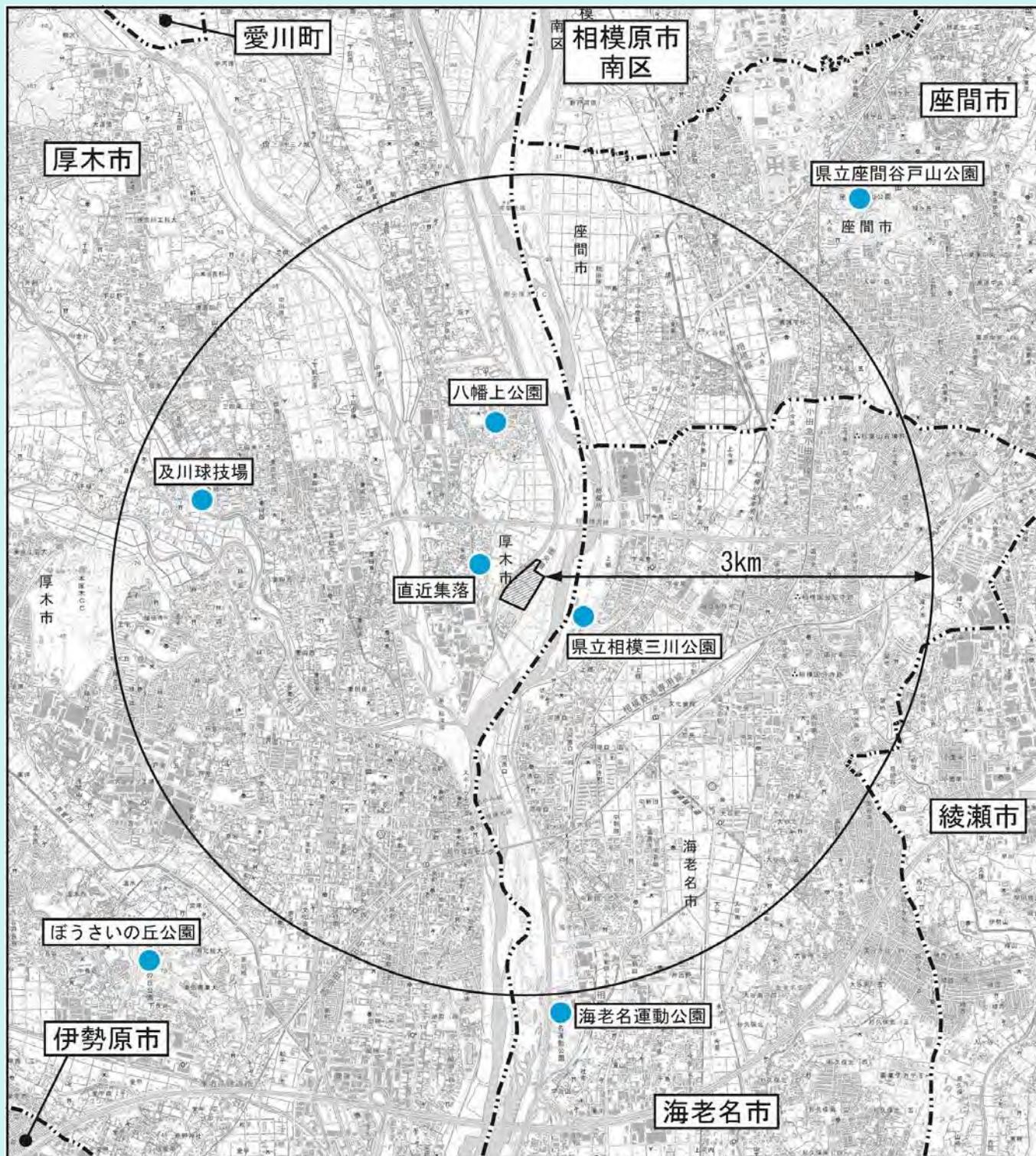


凡 例

- |   |                                  |   |      |   |         |
|---|----------------------------------|---|------|---|---------|
|  | 実施区域                             |  | 主要道路 |  | 主な走行ルート |
|  | 大気質（環境大気）、地上気象、上層気象（実施区域のみ）、土壌汚染 |   |      |   |         |
|  | 大気質（沿道大気）、道路交通騒音・振動              |   |      |   |         |
|  | 水質、水生生物                          |   |      |   |         |
|  | 環境騒音・振動・低周波音                     |   |      |   |         |
|  | 悪臭                               |   |      |   |         |
|  | 動物・植物                            |   |      |   |         |
|  | 安全（交通）                           |   |      |   |         |



○ 現地調査地点位置図（景観）



凡 例



実施区域



市町界



景観

